

2015年5月

クリーニング資材の「！」なトピックス



クリーニング資材通信



2時間目

「きもの文庫紙」のお話〈入門編〉



知っているようで知らなかった「きもの文庫紙」の基本を解説します！



文庫紙・たとう紙（畳紙）の役割と効果とは？

文庫紙・たとう紙は、着物や羽織などを畳んだ状態に入れる和紙でできた包み紙のことで、関西では「文庫紙」、関東では「たとう紙」と呼ばれることが多いようですが、同じものを指します。文庫紙を使うことで着物の皺や日焼けを防いだり、埃よけなどの汚れ対策になるほか、カビやシミの発生を防ぐ大切な役割を持っています。文庫紙の素材が和紙でできているのは、吸湿性や通気性に優れ、着物を湿気から守ること以外にも、和紙が中性であることから紙自体の酸化を防止し、着物の黄ばみも少なくする効果があるためです。ライトではスタンダードな白口とレーヨン模様のようにあしらった雲竜の2種類の和紙を中心に幅広い柄を取り扱っています。



ご存知ですか？内張紙・台紙の必要性

文庫紙のオプションである内張紙（薄紙）や台紙にも、大切な役割があります。

内張紙は、文庫紙の中で着物を包む和紙で、使用することで保水力が増し、着物を保存する際に効果を発揮します。文庫紙にセットして販売する場合は、文庫紙の小窓に合わせて内張にも穴があいていますので、薄紙で着物を包んでも外から中身が見えるよう工夫されています。

台紙は厚紙でできており、着物の折れやシワを防ぐのに大きな効果があります。特にクリーニングで使用する場合は、工場から店舗への運搬時、店舗での保管や外交先への配達時に大いに効果を発揮してくれるはずです。



文庫紙のサイズあれこれ



87cm・83cm…きものを二つ折にして入れるタイプです。和箆筥にそのまま入る大きさのため、たたみ皺が少なくすみ、普及しているサイズです。
64cm…きものを三つ折にして入れるタイプで、羽織や帯にも最適です。一般的な衣装箱や洋服ダンスの奥行きに合う人気のサイズです。
55cm…羽織や帯、ゆかたに最適な特寸サイズです。
47cm・48cm…着物を四つ折にして入れるタイプですが、折り皺が多くなるため、現在は主に帯用として使われています。

★ 次号は「ホッチキス」のお話です。お楽しみに！

株式会社 ライト